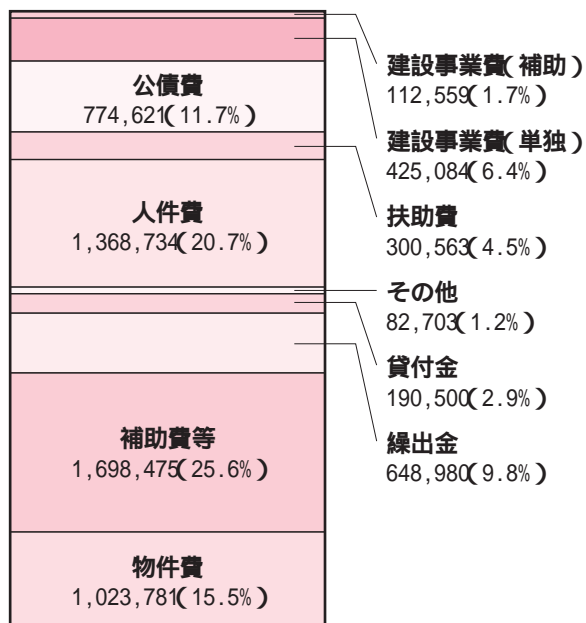




今年夏の開通を目指すエコライン「立場大橋」

用途別構成割合



予算額(千円)

前年との比較では、大型事業が減った総務費、土木費、公債費が減少し、福祉の制度改正などで民生費と農地の保全活用のための補助金や有害鳥獣対策を充実した農林水産業費、スキー場支援のための貸付金を新たに計上した商工費が増加しました。「安心・安全の町づくり」のための予算は、防災関係では、自主防災組織への補助金8百万円のほか、同報無線整備のための実施計画策定に4百95万円を、また、住宅の耐震診断への補助金も計上しました。消防関係では、

旧型の救急車の買換えと消防庁舎の耐震化設計費用を計上しました。少子化対策・子育て支援では、児童手当の支給年齢拡大、児童クラブの設置、学校生活に適用できない生徒のためのフレンドリー教室の設置などの新規事業費を計上しました。建設事業では、西山環状線とちの木地区改良工事、信濃境田端線改良工事などの大型町道改良工事が終盤を迎え、18年度で概ね終了する予定です。また、広域官農団地農道「エコライン」の立場大橋開通式費用を計上しました。



防災対策では、避難所整備や自主防災組織への補助金充実を図ります。

歳出

特別会計・企業会計

特別会計・企業会計予算額 (千円)

特別会計	会計名	予算額	前年度比 %
	国民健康保険特別会計	1,160,000	105.94
老人保健特別会計	1,539,000	107.53	
有線放送電話特別会計	81,000	100.75	
観光施設貸付事業特別会計	293,000	108.00	
富士見財産区特別会計	7,100	151.06	
計	3,080,100	106.85	

企業会計	会計名	予算額	前年度比 %
	水道事業会計	968,800	96.69
下水道事業会計	1,776,000	100.45	
計	2,744,800	97.96	

下水道会計では処理場の増設。特別会計と企業会計予算では、国民健康保険特別会計と老人保健特別会計が医療費の増により増額となり、観光施設貸付事業特別会計は施設整備と償還金の利子の増により増額となりました。下水道事業会計では、公共下水道富士見処理場増設工事費と境処理場増設のための設計費を計上しました。